

# 2月 栄養課だよ!



～2月の行事食「節分」～



おしながき

巻きずし 鯛の塩焼き

蕪のゆず和え 赤だし 節分豆



拡大!



○2月の集団栄養教室「脂質異常症」○



メニュー

ごまひじきご飯

サバの黒酢ソテー～きのこと添え～

ビーンズサラダ 白菜の土佐わさび和え

ヨーグルトゼリー



今月も30名程の患者様が参加してくださいました m(\_)\_m

今回もヘルシー脂質異常症食弁当♪ 皆さん、お箸がすすむ!すすむ!

検査科の先生からは検査項目や動脈硬化についてのお話がありました。

模型を基にわかりやすい説明で、皆さん集中してお話を聞いておられました。

次回 3月24日(火)の集団教室は「高血圧症」についてです。

外来の患者様もご利用いただけますので、詳細は病院までお気軽に

お問い合わせください♪



【今月のひとこと豆知識】



～意外と知らない塩分量～



わさび・おろし(チューブ入り) 6g(小<sup>1</sup>cc)

塩分  
0.4g

しょうが・甘酢漬け 15g

塩分  
0.5g



お寿司に欠かせない薬味にわさびや甘酢しょうががあります。これらの加工食品には塩分が含まれることは御存じだったでしょうか?(もちろん生のわさびではほとんど塩分は含まれません。)

食べる際は、お醤油以外のこういった食品にも目を向けて、量もほどほどにしておきましょう♪



# 今月の栄養課



2/20(金)院内での医療安全取組発表会にて、当院栄養課の取り組みと今後の課題についての発表を行いました。

テーマ:「**栄養管理とリスクマネジメント**」



<経口食について>  
**聖生会病院(変更時のみ食札発行)**

メリット①  
変更時のみ食札発行、コスト現状維持

デメリット①  
作業動線の複雑化による配膳ミスの助長

デメリット②  
患者様要求対応への遅れ、早期栄養介入の遅れ

食事食べられていなかった、聞きに来てほしかった  
(過去の嗜好調査より引用)

頻繁な移動と頻繁な確認

## 栄養管理とリスクマネジメント



H27.2/20(金) 医療安全取組発表会  
栄養課

<経腸栄養について>  
**聖生会病院(一部栄養配膳)**



<配膳申請>  
**病棟毎にセット配膳**  
 ①経腸栄養剤に食札シール貼付  
 →投与量のみ記載、  
 速度記載は無い  
 ②栄養チューブの付加無し

経腸栄養剤によっては速い速度注入可能なものがあるが、その都度確認の必要あり。

例:大家製薬ハイネーゲル



<静脈栄養について>  
**聖生会病院**

体表面積(㎡)	100ml	200ml	400ml	500ml	600ml	700ml	800ml	1000ml
成人(男)	15	20	25	30	35	40	45	45
成人(女)	11	14	18	21	24	27	30	33

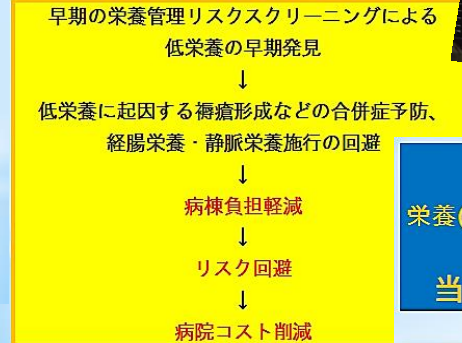
C: 静脈注射の投与速度上限  
 →成人: 0.1 Day / 100ml 未満  
 C: 静脈注射 (輸液ポンプ)  
 投与速度が速いと、  
 薬剤が十分に溶解できず、  
 血栓形成の原因となります。

《NST新聞第9号:2015年2月号》  
 薬剤師NST桑島先生よりPPN製剤料への、  
 ビーフード、TPN製剤材料の適正使用  
 についての注意喚起

《NST新聞 2月号》  
 NST新聞では毎月、食品に関する記事が掲載されています。お読みください。

NST新聞第9号:2015年2月号  
 薬剤師NST桑島先生よりPPN製剤料への、  
 ビーフード、TPN製剤材料の適正使用  
 についての注意喚起

《小括》



《まとめ》  
**栄養(栄養課・NST)のリスクコントロール**  
 ||  
**当院全体の相乗効果に貢献**



先月の栄養だより1月号でも掲載させて頂きましたとおり、  
 彦根市立病院での見学後、頂いた資料をもとに発表資料を作成させて頂きました。  
 当院栄養課が行っている現在の栄養管理を他院とで比較。「経口食」「経腸栄養」「静脈栄養」の3  
 分類に分けて、各々のメリット・デメリットをまとめました。  
 経口摂取のみならず、静脈・経腸栄養の管理を栄養課で徹底管理することによって、衛生管理や医  
 療事故の防止につながります。栄養士が全面的に栄養管理を任されることになる為、低栄養患者  
 に対して早期に介入し対応することができますが、もちろんその為には、個々の栄養士の知識や経  
 験、多職種とのコミュニケーション力も必要となります。また、栄養課内での情報共有や教育体制も  
 必須となってきます。  
 課題はたくさんありますが、ひとつひとつ解決して、こういった取り組みを行うことで、一人でも多く  
 の患者様の早期発見・治療のために貢献できる栄養課になれればと思います！m(\_)\_m





栄養だより 10月号でもお知らせさせて頂きました「第30回日本静脈経腸栄養学会年次学術集会 inKOBЕ」におきまして、**当院栄養課 藤田管理栄養士が筆頭演者**として発表致しました！



JSPEN 2015 KOBЕ 第30回 日本静脈経腸栄養学会学術集会  
The 30th Annual Meeting of Japanese Society for Parenteral and Enteral Nutrition

## 臨床栄養の最前線

エビデンスとガイドラインに基づいた臨床経験の共有 |

会期：2015年2月12日(木)・13日(金)  
会場：神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル  
会長：井上 善文 (大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門 特任教授)



演題テーマ:

## 味の素アミノバイタルプロを用い、NST介入栄養管理により

## 難治性褥瘡が治癒に至った一例 <主治医脳外科土居温Dr.&NSTメンバー>

0622

味の素アミノバイタルプロを用い、NST介入栄養管理により 難治性褥瘡が治癒に至った一例

難治性褥瘡が治癒に至った一例

生化学検査値・栄養療法・褥瘡経過

検査項目	2013/7/22	2013/9/30	2013/10/4	2013/11/5	2013/11/20	2013/12/18	2013/12/25
Hb (mg/dL)	11.7	12.4	12.5	12.7	13.0	12.4	10.9
BUN (mg/dL)	20.9	21.0	32.7	35.0	37.5	36.0	24.3
Alb (g/dL)	3.2	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	5.1
Cre (mg/dL)	0.62	0.51	1.14	1.05	1.09	1.18	1.19

BCAA/アミノ酸検査オーダー

項目	2013/11/5	2013/11/20
Valine	209	182.1
Isoleucine	53.7	51.1
Leucine	105.6	102.3
BCAA	368.3	335.5
Fisher比	2.89	3.24
Tyrosine	57.1	46.7
Phenylalanine	70.4	57.2
Lysine	178.4	160.4
Histidine	62.5	57.6
Arginine	125.3	111.2
Methionine	20.1	17.8

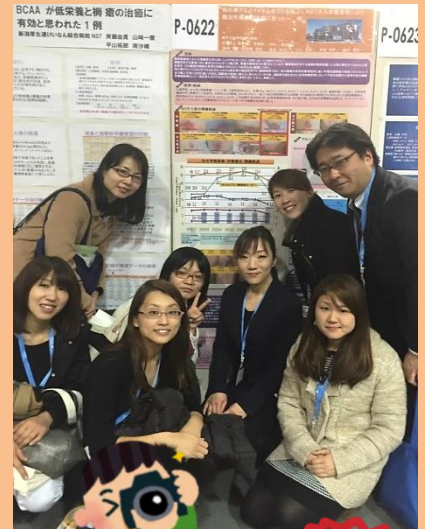
結果

2013年8月17日～2014年1月30日、NST介入による褥瘡治療ガイドラインに沿った必須アミノ酸・BCAA投与によるBCAA投与の必要量向上と褥瘡の治癒に寄与した。2013年12月30日完全治癒を達成し、難治性褥瘡は治癒した。

どうやってこれを 思いついたの??



病態栄養に続き、発表後の  
記念撮影会♪  
板垣 Dr.はじめとするNST  
メンバー+栄養課が大集合～



☆発表を終えた藤田管理栄養士にインタビュー☆

Q.病態栄養学会とJSPENの発表では、何か違いはありましたか？

1.病態栄養学会では**病院、施設使用の栄養補助剤**

を用いた褥瘡治癒経過の発表。

2.今回のJSPENでは**市販栄養補助剤**を用いた褥瘡治癒経過の発表。



栄養指導の場で 1.の栄養関係者しか知らないパンフレットを開き「通販で買いましょう！」と説明されたところで患者様はネットは勿論、ページをたぐって電話をかけるのも大変なことが多いのです。そうであれば 2.の流通経路が多岐にわたり、ドラッグストア、大手スーパー等で買い物ついでに購入できる栄養剤を用いては？と思い、主治医脳外科土居先生、御家族の御了解を得、栄養介入させて頂きました。

当日会場にて多くの反応を頂戴し、時代変化に沿う患者様目線に立った栄養管理の必要性を再確認出来ました。

《今月のセミナー参加状況》

日付	セミナー名
2/12(木)～ 13(金)	第12回 第静脈経腸栄養学会年次学術集会 (藤田管理栄養士によるポスター発表)…詳細は上記栄養課 NEWS に記載♡

